

おいしいホタテの餃子 町内各小中学校の給食に

道の駅あぶたで製造している「もちぷりホタテ餃子」が、3月2日は洞爺地区、3月9日には本町地区の小、中学校の給食メニューに登場しました。

まちの特産品のホタテの稚貝を使ったこだわりの餃子を見童たちに味わってもらおうと、企業組合あぶたが、1,600個提供しました。

虻田小学校4年生の教室では、40人の児童が、一人2個づつ配られた特製餃子をおいしそうに頬張っていました。

「たくさんホタテ料理がある中でホタテの餃子が一番おいしい」と児童にも好評でした。



おいしいホタテ餃子に笑みがこぼれる子どもたち

増 加する中国観光客へのおもてなしを目的に、3月2日、おもてなし観光中国語講座（洞爺湖



熱心に学ぶ観光関係者

日本中国友好協会主催・とうや湖温泉旅館組合共催）が開かれ、町内外のホテル、旅館など観光関係の従業員16人が受講しました。

講師は、長く中国人観光客の添乗経験がある興和国際大福旅行社長の林星豆さんで、接客で使える簡単な中国語や、中国と日本の習慣やマナーの違いについて説明しました。

ちょうど春節の後だったため、参加者は対応に困ったことやマナーの伝え方などについて積極的に質問していました。

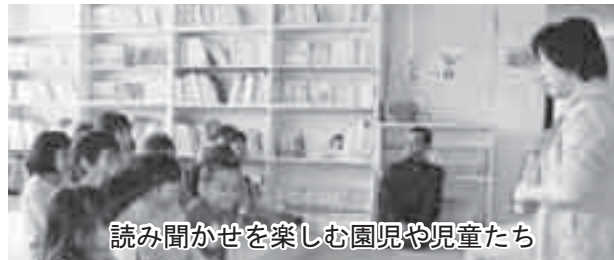
もてなし観光中国語講座 接客用会話習得

教 育委員会が主催する図書室子どもまつりが、3月5日洞爺総合センター図書室で開かれ、児童18人を含む26人が参加して読み聞かせなどを楽しみました。

最初に、「もりのおふろ」「ひとつめのくに」など4冊の読み聞かせを、たんぼぼの会の皆さんが、子どもたちに問いかけながら行いました。

続いてお手玉あそびで、誰が一番長く続かかを競い合い、鉛筆やノートを景品としてもらった子どもたちは大喜びでした。

最後に「あらしのよるに、ひみつのともだち2」のDVDを鑑賞し、楽しい時間を過ごしました。



読み聞かせを楽しむ園児や児童たち

読み聞かせ楽しむ 図書室子どもまつり

温泉中最後の卒業生に記念品贈呈 洞爺湖ロータリークラブ

3月7日、洞爺湖ロータリークラブ（RC、新田裕基会長）が、洞爺湖温泉中学校最後の卒業生4名に、



卒業記念品を手にして喜ぶ洞爺湖温泉中学校の卒業生4人

それぞれが希望した文房具や書籍などを贈りました。

当日は、新田会長と同RC奉仕プロジェクト委員長で温泉中学校1期生の秋田昌昭さんたちが学校を訪問し、卒業する4人の生徒一人ひとりに記念品の入った紙袋を手渡しました。

齊藤優香さんは、「高校でも使える、普段買えないものをもらい、うれしいです」と笑みを浮かべていました。

秋田さんは「温泉中を忘れないで頑張ってもらいたい」と激励し、新田会長は「自分で物事を考え、夢を追いかけてほしい」と新たな人生にエールを送りました。

まちのわだい

